



常陸太田市

議会だより

No. 141
平成27年8月25日

HITACHIOTA

発行 常陸太田市議会 ●責任者 議長 深谷 秀峰 ●編集 広報委員会
常陸太田市金井町3690番地 ●電話 0294(72)3111(代) FAX 0294(73)1119



議会報告・意見交換会（常陸太田地区）
7月10日開催 於：生涯学習センター

■ 平成27年 第2回定例会 開催 ■

主な内容

議会報告・意見交換会	2	議員表彰	9
議会トピックス	3	常任委員会審査	10～11
議案賛否一覧	4～5	議会運営委員会・議会日誌	11
議案質疑	5	編集後記	12
一般質問	6～9		

平成27年度
議会報告・意見交換会を開催



各地区で行われた議会報告会の様子

表紙:常陸太田地区(生涯学習センター)

上:里美地区(里美文化センター)

左下:水府地区(水府総合センター)

右下:金砂郷地区(交流センターふじ)

報告会では、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催しました。開催4回目となる今回は、多くの皆様に参加いただけたこと、時間、周知の方法について検討を行い、休日の昼間から平日の夜間として開催しました。

議会からは、昨年度に各常任委員会が調査研究を行ってきた活動内容を中心に報告し、続いて行われた意見交換では、参加者より本市の財政状況、複合型交流拠点施設「道の駅」整備の進捗状況や、少子高齢化対策、防災への取り組み、さらに学校教育環境などの質問がされ、意見を交換しました。

各地区合計で、過去最多となる145人の皆様にご来場をいただき、誠にありがとうございました。今後も、より多くの皆様に議会報告・意見交換会に参加いただき、議会での政策形成につなげる機会とするため、報告内容や開催方法についての検討を進めてまいります。

報告会では、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催しました。開催4回目となる今回は、多くの皆様に参加いただけたこと、時間、周知の方法について検討を行い、休日の昼間から平日の夜間として開催しました。

市議会は、7月9日(木)、10日(金)、14日(火)、15日(水)の午後7時から、市内4地区において、市民を対象とした議会報告・意見交換会を開催しました。

予算・決算特別委員会の 構成を見直し審査機能を充実

市議会は、議会改革の一環として、予算特別委員会及び決算特別委員会の審査充実を図るための検討を行い、今年9月に開催される決算特別委員会から、全議員により審査を行うことを決定しました。

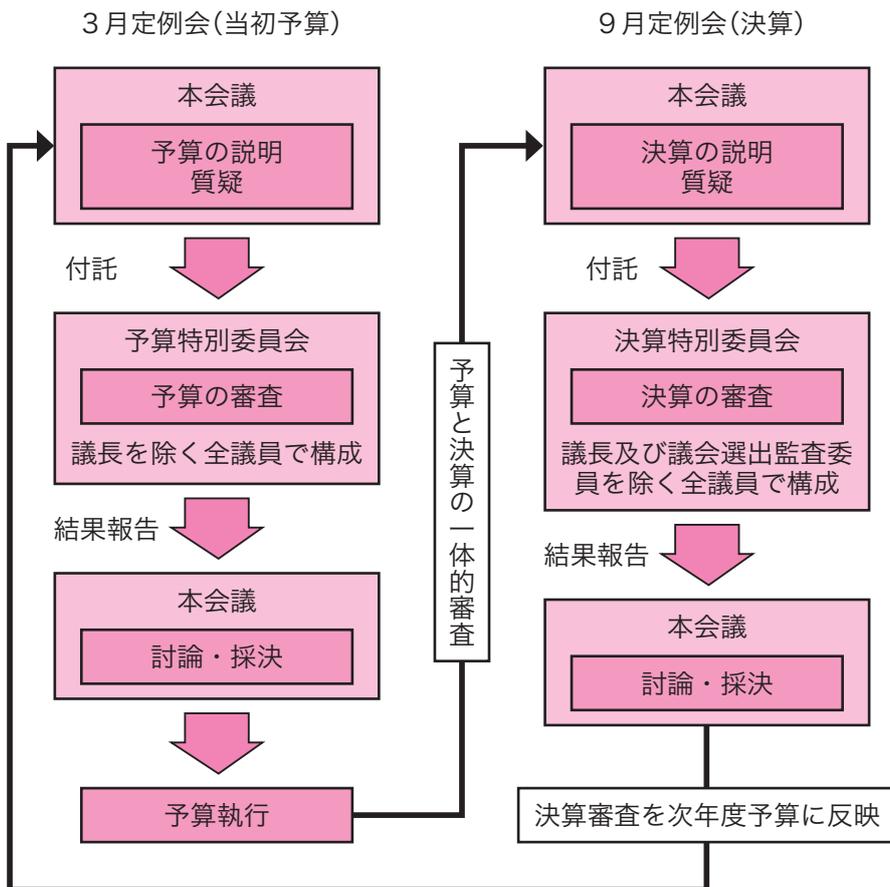
今年9月に開催される
決算特別委員会から適用

これまで、予算特別委員会と決算特別委員会は、常任委員会から選出された9人の委員で構成してきましたが、予算特別委員会と決算特別委員会の委員は、それぞれ個別に選出されることから、審査を行う委員が毎回異なり、予算と決算を一体的に審査することができないという課題がありました。

このため、予算特別委員会を議長を除く全議員で、また、決算特別委員会を議長及び議会選出監査委員を除く全議員で構成することとし、全議員が予算・決算の審査を行う仕組みとしました。

これにより、議会が持つ監視機能をさらに強化いたします。

新しい予算・決算特別委員会のイメージ



市議会公式 Facebookページ を開設

より多くの皆様に市議会の活動をわかりやすくお伝えし、興味を持っていただくため、常陸太田市議会公式Facebook（フェイスブック）ページを開設しました。

市議会の活動やお知らせを中心に掲載していきますので、市民の皆様をはじめ、多くの方々の「いいね！」をお待ちしています。

● ページへのアクセス方法

QRコード対応のスマートフォンからは、右のQRコードを読み取って簡単にアクセスできます。



QRコードからアクセスできない時は、常陸太田市議会ホームページのリンクからアクセスください。

常陸太田市議会 検索

第2回定例会



大久保 太一 市長

提案理由説明（要旨）

第2回定例会の提出議案は、専決処分の報告4件、平成26年度繰越明許費等の繰越計算書の報告2件、条例の一部改正1件、高規格救急自動車購入契約1件及び平成27年度の補正予算2件、合わせて10件。主な議案として、専決処分は、特別交付税の確定、市債の変更等予算措置に係る平成26年度一般会計補正予算。「地方税法」等の改正に伴う市税条例、都市計画税条例、国民健康保険税条例の一部を改正するもの。平成27年度一般会計補正予算は、移住・定住交流推進事業に対する補助金、介護保険制度の見直しに伴うシステムの改修費用、子育て支援情報策定業務委託料、農村集落活性化推進支援事業への貸付金など、1999万3千円を追加し、総額を236億7699万3千円とするものです。なお、会期中に複合型交流拠点施設「道の駅」建設工事の請負契約1件、人事案件1件を追加提案する予定です。

第2回定例会 議案賛否一覧

△全員賛成で可決した議案▽

報告第2号	報告第3号	報告第4号	報告第5号	報告第6号	報告第7号	議案第40号	付託委員会	議決結果
専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市市税条例等の一部を改正する条例）	専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市都市計画税条例の一部を改正する条例）	専決処分の承認を求めることについて（常陸太田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	専決処分の承認を求めることについて（平成26年度常陸太田市一般会計補正予算（第12号））	平成26年度常陸太田市一般会計予算繰越明許費繰越計算書について	平成26年度常陸太田市下水道事業特別会計予算繰越明許費繰越計算書について	常陸太田市介護保険条例の一部改正について	本会 議	原案承認
本会 議	本会 議	本会 議	本会 議	本会 議	本会 議	文 民	原案可決	

総務部長 平成23年度の竜神大吊橋の渡橋料に対する風評被害等の営業損害に係るもので、損害賠償請求の対象となる経費は震災前の平成21年度を基準として、固定費に充当する渡橋料の減額相当分が対象となるもので、主に、指定管理委託料の一部、さらに竜神大吊橋でのイベントに係る経費が対象であり、請求額3180万円に対し、2576万8千

問 報告第5号一般会計補正予算(第12号)において、福島第一原子力発電所事故に係る損害賠償金として2576万8千円の歳入ということだが、賠償の請求を行った額と内容を伺いたい。

議案質疑

(第2回定例会)

議案第41号 高規格救急自動車購入契約について

議案第42号 平成27年度常陸太田市一般会計補正予算(第1号)について

議案第43号 平成27年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

議案第44号 複合型交流拠点施設「道の駅」建設工事請負契約について

議案第45号 常陸太田市及び一部事務組合公平委員会委員の選任について

円、81%の賠償となっている。

問 議案第42号一般会計補正予算(第1号)において子育て支援情報策定業務委託料が計上されているが、事業の内容を伺いたい。

保健福祉部長 国の地域少子化対策強化交付金を活用して事業実施するものであり、「子育て上手常陸太田」「やまぶぎキッズ」の2種類の情報紙を一本化し、より分かりやすく整理して刷新を図るとともに、子育て世代あるいは今後結婚して、子育てを考える世代の方々が必要とする情報内容あるいは提供手段等を、子育て支援サービスを利用していただくのご意見を踏まえて、情報発信アプリを構築するなど、子育て世帯に対する情報提供の強化を図るものである。

問 議案第42号一般会計補正予算(第1号)の中の農村集落活性化支援事業費貸付金について、水府地区活性化推進協議会の当分の活動費用として貸し付けるとのことだが、協議会と事業の内容を伺いたい。

農政部長 水府地区活性化推進協議会は平成27年5月1日に設立され、水府地区の加工グループ「ひまわり工房」、柿の生産者、合わせて12名

で当初の協議会の設立を行ったもので、今後は水府地区の皆様に対して広く事業の周知等を行っていくとともに、今後決定される地域おこし協力隊も含めた構成メンバーの拡大、連携、協力的体制づくりを図る。事業内容は東京農業大学との連携により将来ビジョンの策定、農作物等を中心とした地域資源の調査及びワークショップ等の開催を行い、これにより、今後5年間で実施する事業を決定していくこととなる。

一

般

質

問

平成27年第2回市議会定例会の一般質問は一問一答方式で行われ、7名の議員が登壇しました。(次ページから掲載)
※掲載内容は一般質問の一部を要約したものです。発言の詳細は9月中旬以降議会ホームページ・市図書館で公開する会議録をご覧ください。

川又 照雄 議員

問1 本市における増加傾向にある空き家・空き地の現状と対策について伺いたい。

答1 市民生活部長 条例施行後、空き家24件、空き地126件の相談があり、未措置案件に対しては今後も調査助言等を行い、早期対応を促してまいりたい。管理不全が改善されない案件が出てきた場合は、法律に基づき対応していく。空き家等対策の推

問1 空き家・空き地問題について
問2 市営住宅について

進に関する特別措置法の周知は、今後、市広報紙・ホームページ等で周知を図り、所有者等にも丁寧な説明を行ってまいりたい。空き家除去後の土地の利活用に対する支援策は、個人財産の観点から難しいと考えるが、今後他市町村の状況を見ながら研究してまいりたい。

問2 市営住宅入居緩和のその後の状況と、今後の建設予定、既存の市営住宅の建て替え・リニューアルについて伺いたい。

答2 建設部長 入居条件緩和後、子育て世代、新婚世帯に加えて、金砂郷・水府・里美地区の一般世帯も含めてこれまで73世帯、197人の方が入居、その内18世帯46人の方が市外から転入してきており、一定の成果を上げた。今後も市外からの入居者の増加に努めてまいりたい。市営住宅

の建設計画については、管理戸数581戸に対し、入居戸数が522戸になっており、現時点での新設の計画はないが、入居希望者のニーズや動向を見据えながら、適切な市営住宅の供給に今後とも努めてまいりたい。既存住宅のリニューアルについては、これまでの快適な住環境確保に加えて、入居希望者が少しでも満足できる住宅供給に努め、定住人口の増加に寄与していきたい。

藤田 謙二 議員

問1 現在、地方版の人口ビジョン及び地方版総合戦略の策定が進められている中、9月までに策定予定の、常陸太田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況について伺いたい。

答1 政策企画部長 本年2月に市長を本部長とした創生本部を設置。5月には具体的施策の立案・検討を行う「しごと創生」と創生「まち創生」の3つの専門

問1 まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定状況は
問2 わな猟免許の取得に対する補助制度の新設を

部会及びそれぞれの部会の中に具体的な施策のテーマを3つ設定し、そのテーマ毎にワーキンググループを配置。6月中旬に施策案の提案、7月に重要業務評価指標の設定、8月に総合戦略案としてまとめる予定。なお、策定に当たっては産官学金労言等で組織する有識者会議や、18歳以上の市民3000人、並びに市内小中学校・高校の生徒約3600人を対象としたアンケート調査も実施し、市民の意識及び

意見等を幅広く収集・分析をして、重点施策に反映してまいりたい。

問2 イノシシによる農作物へ被害が増加する中、市捕獲隊による捕獲状況の大部分がわなによるものという中で、わな猟免許取得者を増やすためにも補助制度の新設を望むが考えを伺いたい。

答2 農政部長 市捕獲隊におけるわな猟免許所持率は約

53%で、組織内のわなの免許所持率を上げることが効率の良い捕獲にも繋がるものと考え、現在協議を進めている。また個人であったもわなの免許所持者については市の許可により、自分の敷地内等であればわなの設置も可能との見解があるため、今後、市捕獲隊員及び個人のわなの免許取得にかかわる支援についても、課題等を整理しつつ制度創設の検討を行う必要があると考えている。

【藤田 謙二 議員 質問事項】

- 地方創生の推進について
- 歴史資源の保護・活用について
- 有害鳥獣等被害対策について

【川又 照雄 議員 質問事項】

- 空き家・空き地問題について
- 定住促進の取り組みについて
- 少子化・人口減少対策について
- 公の施設の駐車場問題について

諏訪

一則議員

問1

「障害者優先調達推進法」は、国等による障害者就労施設等からの物品の調達、推進等

に関する法律であり、障害者就労施設で就労する障がい者や在宅で就労する障がい者の経済面の自立を目指すため、国や地方公共団体、独立行政法人などの公共機関が物品やサービスを調達する際、障害者就労施設等から優先的、積極的に購入することを推進するために制定された法律である。

道の駅において、障害者優先調達推進法の一部と考えて、障害者就労施設等への働きかけをしているのか伺いたい。

答1

農政部長 複合型交流拠点施設「道の駅」における作業の受注及び生産品の販売については、法の趣旨を鑑み、今後提供者である障害者就労施設の方々と提供可能な役務及び物品等についての協議を行い、運営の主体となる第三セクターの経営方針の中で検討協議を行ってまいりたい。

なお、コーナールの設置については、当該施設が農産物、加工品及び特産品等の販売を目的とする施設であり、売り場面積にも限りがあることから、常設によるものだけでなく、提供者からの物品等の数量等にもよるが、臨時的なコーナールの設置も含め検討をしてまいりたい。

※議会だよりにおいて、障がいの「がい」の表記は、ひらがな表記を基本とし、法令や条例、制度、施設名、法人や団体の固有名称などについては漢字表記としています。

井坂 孝行議員

問1

今般、テレビや新聞等では全国的に殺害、傷害事件や若年層の犯罪が多発している。安全で安心な地域社会の実現を目的に「常陸太田市安全・安心まちづくり条例」が施行されているが、推進計画のPDCAと現在の活動、事業を伺いたい。

「空き地、空き家の適正管理に関する条例」や「空き家等の推進に関する特別措置法」が公布され、この法律等により空き家等対策計画の策定が規定されている

問1

安全・安心なまちづくりの進捗状況について

が、進捗状況について伺いたい。

私達の生活は多くの石油エネルギー消費の上に成り立っているが、ガソリンスタンドが全国的に減少傾向である今般、市内のガソリンスタンドの設置状況、消防法改正による状況、また、東日本大震災時の状況と応急対策等車輻及び救急・消防団車輻への燃料供給に十分な貯蔵量が市内には確保されているのか伺いたい。

答1

市民生活部長 「安全・安心まちづくり推進計画」は

内容が重複する市総合計画実施計画においてPDCAを踏まえ推進を図っている。事業、活動の推進については関係団体等と連携し、防犯・交通安全の啓発活動、防犯灯の設置、地域防犯パトロールへの支援などを行っている。空き家等対策計画については、県・他市町村の状況を調査し、計画の策定の有無も含め検討したい。

消防長 市内のガソリンスタンドは過去10年間で10事業所が廃業し現在21事業所である。東日本大震災当時は23事業所中11のスタンドで被害を受けたが、救急車、消防団車輻等への燃料供給は火災がなかったため、わずかな燃料供給で対応することができた。

【井坂 孝行 議員 質問事項】

- 安全・安心なまちづくりの進捗状況について
- 新たなコミュニティ体制の進捗状況について

【諏訪 一則 議員 質問事項】

- 障がい者賃金について
- 障害者優先調達推進法について
- 道の駅における障害者優先調達推進法について

平山 晶邦 議員

問1 本市は「住むんだつたら常陸太田」のキャッチフレーズのもと子育て支援に様々な事業を行っている。子どもがいる若い夫婦の関心が高いのが子どもの学校教育環境である。県内の他市町村と比較すると本市の教育環境は決して高められた状況ではない。

新築した学校においても先進的な試みは行われていない。既存の学校教育環境はトイレや教室の温度調整等の環境改善が行われておら

問1 教育環境の整備について

ず、保護者や子どもたちからの評価は低い状況である。教育環境の今後の方針を伺いたい。

答1 教育長 学校は、児童生徒たちが生活をする中で一番多くの時間を過ごすところであり、快適な環境づくりが必要であると考えている。新築中の金砂郷中学校においては中央に吹き抜けを配置し、光と風をコントロールできる環境等を創造した。トイレ

問2 公共施設等総合管理計画策定について

についても、暖房便座やウォシュレットを採用し、子どものニーズに合った環境をつくりあげた。既存の学校については、平成28年度から学校施設環境改善交付金を活用し、3ヶ年程度でトイレ改修工事を完了させる計画である。暑さ対策については、扇風機等を含めた整備を積極的に検討していく。校舎の外壁や床の大規模改修についても順次行っていく。

答2 政策企画部長 公共施設の統廃合や再配置などを勘案して平成28年度までに策定する。

深谷 渉 議員

問1 「空き家等対策特措法」の全面施行は、今までの閉塞状況を改善できるものである。これにより空き家対策の対応は、どのように変わるのか伺う。

答1 市民生活部長 現況の改善ということに対して強制力に限界があったが、法律の規定に基づき、所定の手続きを踏みながら行政代執行により現況改善まで進めることができるようになる。

問1 空き家等対策特措法の丁寧な運用を望む

問2 ICTを活用したイノシシの被害対策が有効

また、空き家の所有者の特定には、独自に調査を行い、長時間を費やしていたが、課税情報の内部利用による迅速な対応ができるようになったことや、勧告に従わない場合には、住宅用地の税特例措置の除外による空き家の除去を促す効果が望めるということなど、税務課と連携した対応が可能となる。

問2 塩尻市では鳥獣被害対策にICTを導入した。水田の

周辺に野生鳥獣の出没を検知するセンサーを設置。イノシシ等がセンサーの近くに現れると、サイレンの音や光で追い払う。さらに、地元農家や猟友会に対し、出没时间と場所がメールで配信される。有害鳥獣の動きの「見える化」を実施した。出没場所に限定し捕獲用のわなと檻を設置、駆除対策が効率的になった。センサーは、わなと檻にも設置され、動物がわな

にかかる農家や猟友会にメール

が届くため、捕獲後の処理も迅速にできる。被害削減に大きな効果を上げている。その導入を求める。

答2 農政部長 塩尻市の水田27haの稲作被害がゼロとなった実証実験は、本市にとって、大変参考になると考えている。システム導入による費用対効果及び効率性等も含め、調査・検討を行っていく方向で考えている。

【深谷 渉 議員 質問事項】

- 生活困窮者自立支援について
- 空き家問題について
- 鳥獣被害対策について
- 防災行政無線について

【平山 晶邦 議員 質問事項】

- 教育環境の整備について
- 公共施設等総合管理計画策定について

宇野 隆子 議員

問1 戦争法案は廃案に／平和の取り組みを
問2 統廃合はやめ、魅力ある学校づくりを求める

問1 国会で審議中の「安保法案」は、地球上どこでも自衛隊を派兵して、米軍のあらゆる戦争に参加する「戦争法案」であり、憲法9条のもとで許されない「違憲」の法案である。日本を戦争する国にかえる戦争法案は廃案にすべきである。法案に対する市長の見解を伺う。戦後・被爆70年を転機に、広島・長崎平和式典への代表派遣や写真・パネル展示の実施など、平和の取り組みの推進を求める。

答1 市長 今回の法制整備は日本の安全保障政策の大転換を図るものであり、国会で十分に審議を尽くして欲しい。
政策企画部長 戦争の悲惨さや平和の尊さを伝えるために、8月に原爆写真パネルの展示を予定している。代表派遣は引き続き検討していく。

問2 文科省は「小中学校の適正規模・適正配置等に関する

手引」を今年の1月、各教育委員会に通知した。本市は「ストップ少子化・若者定住」を掲げ、さまざまな施策を先進的に取り組んでいる。しかし学校がなくなれば人口流出、過疎化に拍車がかかる。学校は子どもの成長・発達を支え、地域の文化・歴史・コミュニティや防災の拠点などの役割を果たしている。統廃合を推進する文科省の「手引」は問題が多い。魅力ある学校づくりを進めることが「ストップ少子

化・若者定住」にもつながる。学校の役割と今後の統廃合のあり方を伺う。
答2 **教育長** これまでの統廃合の経緯や地理的・歴史的背景を踏まえ、金砂郷、水府、里美地区においては各小・中学校を1校ずつ残す基本指針を踏襲し、できる限り地域単位での地域のコミュニティが保持されるようにしてまいりたい。

【宇野 隆子 議員 質問事項】

- 平和の問題について
- マイナンバー制度導入の問題について
- 原発問題について
- 学校統廃合問題について
- 「道の駅」について

全国市議会議長会、茨城県市議会議長会から表彰状

全国市議会議長会定期総会において、議員在職25年以上として宇野隆子議員に。議員在職15年以上として黒沢義久議員、後藤守議員、川又照雄議員に。議員在職10年以上として平山晶邦議員に。さらに、茨城県市議会議長会定例会において、議員在職25年以

上として宇野隆子議員に。議員在職15年以上として黒沢義久議員、後藤守議員、川又照雄議員に。議員在職8年以上として鈴木二郎議員、木村郁郎議員に。それぞれ多年の地方自治進展と市政向上に貢献されたことにより表彰状が贈られました。



黒沢義久 議員

在職15年以上
 全国・県表彰



宇野隆子 議員

在職25年以上
 全国・県表彰



平山晶邦 議員

在職10年以上
 全国表彰



川又照雄 議員



後藤守 議員



木村郁郎 議員



鈴木二郎 議員

在職8年以上
 県表彰

総務委員会

総務委員会では、高規格救急自動車の購入契約1件、平成27年度一般会計補正予算1件、合計2件の審査を行い、付託された2議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第41号高規格救急自動車購入契約

問 現在、本市では5台の高規格救急自動車が配備されているというところだが、配備個所を伺いたい。また、配置台数は十分といえるのか伺いたい。

答 南消防署に2台、北消防署に1台、里美出張所に1台、金砂出張所に1台、計5台を配備している。配備数は消防力の整備指針第13条に基づき台数及び各署所に1台を配備しており、充足率を満たしている。

問 今後の配置計画と更新時期を伺いたい。

答 配置は現状どおり各署所に1台以上とし、更新期間は緊急自動車は救急車が10年、走行距離15万キロで車両の程度により更新していく。

議案第42号平成27年度常陸太田市一般会計補正予算(第1号)

問 移住・定住・交流推進支援事業費補助金について、事業主体と事業内容を伺いたい。

答 一般財団法人地域活性化センターが地域団体等で自主的主体的に地域を活性化する事業に助成するもので、里美地区の地域団体「折橋(芸・農)部」が中心となり、住民参加型ワークショップ方式で50年ほど前に廃業し使われなくなった旧酒蔵の改修を行い、地域交流の拠点を整備し、地域内外住民との交流による地域活性化を図るものである。



新たに購入契約された高規格救急自動車は、車両の更新に伴い南消防署に配備される。
※写真は同型の車両

文教民生委員会

文教民生委員会では、条例の一部改正1件、補正予算1件、合計2件の審査を行い、付託された2議案を全会一致で原案可決すべきものと決定した。

▼主な質疑応答

議案第40号常陸太田市介護保険条例の一部改正について

問 今回の改正で低所得者の保険料軽減を図ることだが、内容を伺いたい。

答 第1段階に該当する方の保険料負担割合を現行の0・50から0・45の負担割合とし、保険料を2万8900円から2万6千円に改定するものである。

議案第43号平成27年度常陸太田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について

問 補正予算で新設されている低所得者保険料軽減繰入金885万3千円のうち、市が負担するのはどの程度の金額か伺いたい。

答 低所得者保険料軽減繰入金は、低所得者の保険料軽減のため、保険料負担割合を0・05引き下げた分を公費で負担するもので、885万3千円のうち国が2分の

1、県・市が4分の1ずつの負担割合で拠出し、一般会計から繰り入れるものである。

問 介護報酬の引き下げにより、保険給付費が削減されているが、報酬の引き下げが介護事業所の賃金に与える影響について調べていただいたい。

答 介護報酬が引き下げられたことによる事業者への影響について特段の調査は行っていないが、今回の介護報酬改定の中には職員の処遇改善も含まれている。研修会の実施等、一定の要件をクリアした場合に人件費が加算される制度で、該当する事業者は県または市に申請するものだが、市内で対象となる11事業者すべてが申請済みである。



5月21日、福祉の杜サングリーンプシア太田(旧河内小学校)において高齢者福祉の取り組みについて現地視察を行った。

- 【委員会構成】
- 委員長 高星 勝幸
 - 副委員長 福地 正文
 - 委員 茅根 猛
 - 委員 後藤 守
 - 委員 鈴木 二郎
 - 委員 深谷 秀峰

- 【委員会構成】
- 委員長 深谷 涉
 - 副委員長 藤田 謙二
 - 委員 宇野 隆子
 - 委員 高木 将
 - 委員 川又 照雄
 - 委員 菊池 伸也
 - 委員 諏訪 一則

産業建設委員会

産業建設委員会では議案の付託はなく、委員会を協議会に切り替え、市商工会において、委員会を進めている「常陸太田の地酒」で乾杯を推進する条例について市商工会会長及び各部長、市担当部局を交え、意見交換を行った。

▼主な意見交換の内容

商工会 商工会としての支援の方法はいろいろあると思うので、今後、各関係者と協力しながら考えていきたい。

商工会 「常陸太田市地酒協議会」の代表をさせていただいている。伝統産業である本市の日本酒を活用し、地域の活性化に寄与できればと考えており、できる限り努力をしていきたい。

議員 地酒で乾杯を推進するにあたり、まず市内の飲食店に地酒がなくて乾杯ができない。各店において仕入れ業者等の付き合いや、いろいろな問題があると思うが、それを含めて、市内の飲食業者、旅館業等、商工会として協力をしていってほしい。

商工会 例えばキャンペーン期間を

作って市内の各飲食店に無償等で乾杯分の地酒を用意するなどして、PRができればよいのですが。

議員 この乾杯条例制定にあたって欠かすことができないのは、酒造業者、市、市商工会の連携が最も重要。

この後、市商工会から「市商工会の現況」について説明をいただき、意見交換会を終了した。



商工会会議室で行われた意見交換の様子

【委員会構成】

委員長	長木村 郁郎	委員	成井小太郎
副委員長	井坂 孝行	委員	益子 慎哉
委員	黒沢 義久	委員	平山 晶邦

議会日誌

議会運営委員会

4/21、5/21、6/5・10・16

第2回定例会の会期・日程等について協議

4月21日、第2回定例会の会期について協議、本会議に諮ることとし、「ひたちおたお知らせ版」及び市民バス、各支所窓口へ掲示することとした。5月21日には第1日の日程、議案等付託委員会、一般質問・議案質疑の通告期限及び一般質問の発言方法・時間制限について。6月5日には一般質問通告者について。6月10日には追加議案の発言通告について。6月16日には最終日の日程及び追加議案について協議を行った。

委員長	鈴木 二郎	委員	高星 勝幸
副委員長	藤田 謙二	委員	益子 慎哉
委員	高木 将	委員	深谷 涉
委員	茅根 猛	委員	木村 郁郎

4月15日	広報委員会
21日	議会運営委員会・全員協議会・広報委員会・総務委員会・文教民生委員会協議会
5月11日	産業建設委員会協議会
18日	鹿児島県指宿市議会総務水道委員会視察来庁
20日	県北市議会議長会定例会
21日	議会運営委員会・全員協議会・総務委員会・文教民生委員会
25日	茨城県市議会議長会正副会長会・理事会・定例会
27日	関東市議会議長会第81回定期総会
28日	市町村長・市町村議会議長会
6月5日	本会議（開会・議案説明）・議会運営委員会・総務委員会協議会
9日	本会議（一般質問）
10日	本会議（一般質問）・議会運営委員会
11日	本会議（議案質疑）・文教民生委員会協議会
12日	総務委員会
15日	文教民生委員会
16日	産業建設委員会・産業建設委員会協議会・議会運営委員会・全員協議会
17日	全国市議会議長会第91回定期総会
18日	本会議（採決・閉会）

常陸太田市議会 インターネット映像中継 検索

インターネット上で市議会本会議の中継をご覧いただけます

常陸太田市議会では、本会議映像のインターネット配信を行っています。

配信は議会の「生中継」と「録画中継」の2種類で常陸太田市議会のホームページより、ご覧いただくことができます。

録画中継は、会議終了日から概ね1週間で視聴可能になり、24時間いつでもご覧いただくことができます。



議員辞職のお知らせ

鈴木二郎議員の辞職願が、7月31日付で許可されました。鈴木議員は平成18年の初当選以来、3期9年、議員を務められました。なお、これにより議員定数20人に対し、欠員が2人となりました。

議会を傍聴しませんか!!

市議会の活動を目の前で見てみませんか？ 6月定例会では、43人の方に議会を傍聴いただきました。会議の様子は、どなたでも傍聴できますので、個人はもとより各種団体、サークルなど、皆さんお誘いあわせの上、ぜひ傍聴にお越しください。

9月定例会会期日程（予定）

- 9月 3日(木)午前10時 開会・議案説明
7日(月)午前10時 一般質問
8日(火)午前10時 一般質問
9日(水)午前10時 議案質疑
10日(木)午後 1時 総務委員会
11日(金)午後 1時 文教民生委員会
14日(月)午後 1時 産業建設委員会
15日(火)午前10時 決算特別委員会
16日(水)午前10時 決算特別委員会
18日(金)午前10時 採決・閉会

訂正

常陸太田市議会だより第140号に誤りがありました。以下の通り訂正いたします。
【表紙 写真紹介】さとみ春の味覚祭
【3ページ 平成27年度施政方針欄】市立幼稚園給食費の軽減「新規」市立幼稚園の給食費を現行の半額に軽減(歳入予算) 1173万4千円
▼子育て世帯臨時特例給付事業 消費税率引き上げに伴い、子育て世帯への負担軽減を図るため、臨時的な措置として支給対象児童1人当たり3千円を給付1951万4千円
▼道整備交付金事業 磯部天神林線、大門幹線、亀作西真弓線、高柿千寿線の整備 2億4200万円

編集後記

常陸太田市議会だより第141号では、第2回定例会の主な内容を掲載いたしました。議会では、より多くの皆様に議会の活動を知っていただくため、フェイスブックを活用した広報を開始しました。市民の皆様、なお一層のご支援をお願い申し上げます。

- 議長 深谷 秀峰
発行責任者
広報委員長 菊池 伸也
委員長 井坂 孝行
副委員長 福地 正文
委員 高星 勝幸
" " " " 深谷 孝行
" " " " 木村 郁郎
" " " " 藤田 謙二

議会だよりに関するご意見・ご感想をお寄せください。今後の本紙編集の参考とさせていただきます。

議会事務局 電話 0294 (72) 3111 Email gikajimu2@city.hitachiota.lg.jp

